

# 真教寺の定例法座が スタートします 名付けて

## “真教寺・ アフタヌーン(午後) 法座”



これまでの御十六日法座（おじゅうろくにち）の伝統を引き継ぎ、どなたでもお参りできる、定例法座（アフタヌーン法座）として“再スタート”します。

16日というのは、宗祖・親鸞聖人のご命日。真教寺においては、このご命日をご縁に、ご門徒の皆さまが、ご法座を通してお寺を“心のよりどころ”とされていました。

御十六日法座では、お齋をいただきながら、ご門徒同士が交流を深める大切な場でありました。

これからは、時代に即応しながら新たな形の中で、この『真教寺・定例法座』（アフタヌーン法座）が皆さまにとって大切な仏縁となることを願いに開座してまいります。

### ～真教寺・定例法座（アフタヌーン法座）～

開座日：2月、5月、6月、7月、10月、12月の16日。（年6回）

時間：13時30分～15時。

内容：お勤め（勤行、法話）、茶話会形式の座談会

どなたでもご自由に参拝できます。お茶をいただきながら、ゆっくりした時間をお寺でお過ごしください。

### ＜☆予告☆＞

#### 真教寺リーフレットが完成します!!

このリーフレットは、全ての方々に、真教寺を知っていただく内容になっています。

お寺が皆さまの“心のよりどころ”となるパスポートのような存在です!!

後日、配付いたします。お楽しみにお待ちくださいませ。

しんきょうじくらぶ  
真教寺倶楽部

浄土真宗本願寺派(西本願寺)

千部山 真教寺

住職 井上 浄英

〒811-1222 那珂川市下梶原2-8-1

第16号  
令和2年9月



## お寺ステーション

## 総代会・定例会開催

### ～今後の行事について協議～

7月16日に、コロナ対策をしておの開催となりました。今後のお寺のあり方を話し合う、貴重な時間となりました。お寺の行事や今後の取り組みについて、ご報告いたします。

#### ＜今後のお寺行事の予定＞

※詳細は、2ページに記載

#### ＜今後の活動予定＞

- ・オンライン活動（真教寺ホームページ開設、Facebook、Instagram）
- ・DM活動（お寺新聞「真教寺倶楽部」の発刊、お寺リーフレットの発刊）
- ・本堂空調設備（冷暖房）の設置
- ・本堂のLED化



コロナ禍と向き合いながら… with コロナとして…  
できることを、できることから、すこしずつ…

## 本堂にクーラーを取り付けました!

お盆を迎える前に、本堂の空調設備（冷暖房機）が整いました。「お盆法座」を涼しさの中で、お勤めできました。また、冬の寒さ対策もバッチリです。



コミュニティ・スクール  
那珂川南中学校 (第41期生徒会スローガン)

協挑

～仲間との絆を大切に、全員で成長していく学校～

※コロナ禍の厳しい状況の中、子どもたちとともに、このスローガンを合言葉として、この苦難を乗り越えていこう!

那珂川南中学校・PTA活動テーマ  
『エール!!』～あなたに届け応援メッセージ～

い私にできること  
私のいのちを大切にすること  
他の人のいのちを大切にすること

What can I do now?  
To cherish my life  
Respecting the life of all people on earth

いる私たちは、大きな不安の中で、生活しています。目に驚き、心の中に広がる不安。いよほど心配いからず、不安。大切な「いのち」が、そこをめぐって、いよほど不安。そんなとき、少し立ち止まって、呼吸を止めてみましょう。

「いのち」の中で、生かされている。だからこそ、いのちを大切にしたい。私たちが生かされている、いのちを大切にしたい。そのために、いのちを大切にすることを考えよう。

自分は大丈夫と、過信しない。必要なものは、人生からある。無理のない程度に、取り扱わない。不安が来たら、呼吸を止めて、待たない。優しい笑顔の中、目を輝かせるように、言葉を、

「いのち」の中で、生かされている私たちは、いのちを大切に、生きていこう。誰もが安心して生活できる社会を、取り戻していこう。

浄土真宗本願寺派(西本願寺)

下の画像は、本願寺の「With コロナ」のポスターです。本堂に掲示しておりますので、お参りの際にご覧ください

(住職)

## 「まんまん茶房」

今年度より、次女(中3)と長男(中1)が通う「那珂川南中学校」のPTA会長を務めています。子どもたちの為に、様々な行事を予定していましたが、ご承知の通りコロナ禍の影響で各行事が中止・延期になっています。各行事を楽しみにしていた子どもたちでしたが、その楽しみを奪われ不安の中に、中学校生活を送っている状況です。

PTAとしてこの不安を取り除くために、このコロナ禍の逆境だからこそ、何かできることがあるとの思いを大切にして、出来ることをできる範囲で企画・実施に向けて準備をしています。

取り組みの一つをご紹介します。ポスターを作成しました。生徒会スローガンを合言葉に、このコロナ禍の苦難を、みんなで乗り越えていこうとの思いからです。学校・地域に掲示しています。

さて、お寺もこのコロナ禍の影響で、法座等はできない状況であります。皆さまには、ご心配をおかけしています。しかし、この厳しい状況から見えてきたこともあります。今後の“お寺のあり方”を見つめる貴重な時間としたい、今後の活動に向けて住職として気持ちを引き締めているところですので、今後、様々な発信をしてまいります。どうぞ楽しみにしてください。

お寺が、“心のよりどころ”であり続けるために…

